

2018年度 最低賃金改定影響についての調査レポート

■ 目次

- ・最低賃金改定額直近3年間推移
- ・2018年度の最低賃金改定についての採用担当者の意識調査結果
- ・過去3年間における月次での改定後最低賃金を下回る原稿率推移
- ・職種別における最低賃金を下回る原稿率
- ・エリア別における最低賃金を下回る原稿率
- ・首都圏における最低賃金を下回る原稿率
- ・（参考）東京都における詳細エリア別の改定後最低賃金を下回る原稿率
- ・東海における最低賃金を下回る原稿率
- ・関西における最低賃金を下回る原稿率

■ トピック

- ・最低賃金の改定額は全国加重平均において2016年度より、3年連続で前年比3%を超える高い伸び率で推移し続けている
- ・採用担当者に、最低賃金の引き上げについてどのような影響があるかアンケートを行ったところ53%もの担当者が「事業計画など、経営全体にかかわる影響がある」と回答した
- ・2018年の8月・9月において、全国のアルバイト・パートに関する求人原稿のうち10月の最低賃金改定額を下回っていたのは、8月時点では19.3%、9月は13.0%
- ・職種別にみると、8月の全国のアルバイト・パートに関する求人原稿のうち10月の最低賃金改定額を下回っていたのは、「販売サービス系」がもっとも高く26.6%、次いで「製造・物流・清掃系」が19.9%と続いている
- ・三大都市圏において8月のアルバイト・パートに関する求人原稿のうち10月の最低賃金改定額を下回っていたのは、「関西」が最も高く23.7%、次いで「首都圏」が18.2%という結果
- ・改定後最低賃金を下回る原稿割合は、首都圏において、神奈川県が最も高く、8月時点で28.9%という結果となっている。次いで東京都、埼玉県、千葉県が続いている
- ・関西においては、大阪府が最も改定後最低賃金を下回る原稿割合が高く、8月時点で28.1%という結果となっている

最低賃金額直近3年間推移

直近3年間の最低賃金改定額の推移は以下になります。最低賃金の改定額は全国加重平均において2016年度より3年連続で前年比3%を超える高い伸び率で推移し続けています。

最低賃金については、「働き方改革実行計画」（平成29年3月28日働き方改革実現会議決定）において、年率3%程度を目途として名目GDPの成長率にも配慮しつつ、引き上げていくこととし、全国加重平均が1000円になることを目指すことを表明されており、今後も高い伸び率で推移していくことが想定されます。上昇による影響は県やエリアによって差が見られるのでしょうか。以降のページで、最低賃金改定においてアルバイト・パート領域での影響についてみていくこととします。

最低賃金額

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	2016年度	2017年度	2018年度
北海道	786	810	835
青森	716	738	762
岩手	716	738	762
宮城	748	772	798
秋田	716	738	762
山形	717	739	763
福島	726	748	772
茨城	771	796	822
栃木	775	800	826
群馬	759	783	809
埼玉	845	871	898
千葉	842	868	895
東京	932	958	985
神奈川	930	956	983
新潟	753	778	803
富山	770	795	821
石川	757	781	806
福井	754	778	803
山梨	759	784	810
長野	770	795	821
岐阜	776	800	825
静岡	807	832	858
愛知	845	871	898
三重	795	820	846
滋賀	788	813	839
京都	831	856	882
大阪	883	909	936
兵庫	819	844	871
奈良	762	786	811
和歌山	753	777	803
鳥取	715	738	762
島根	718	740	764
岡山	757	781	807
広島	793	818	844
山口	753	777	802
徳島	716	740	766
香川	742	766	792
愛媛	717	739	764
高知	715	737	762
福岡	765	789	814
佐賀	715	737	762
長崎	715	737	762
熊本	715	737	762
大分	715	737	762
宮崎	714	737	762
鹿児島	715	737	761
沖縄	714	737	762
全国加重平均	823	848	874

前年差（前年比）

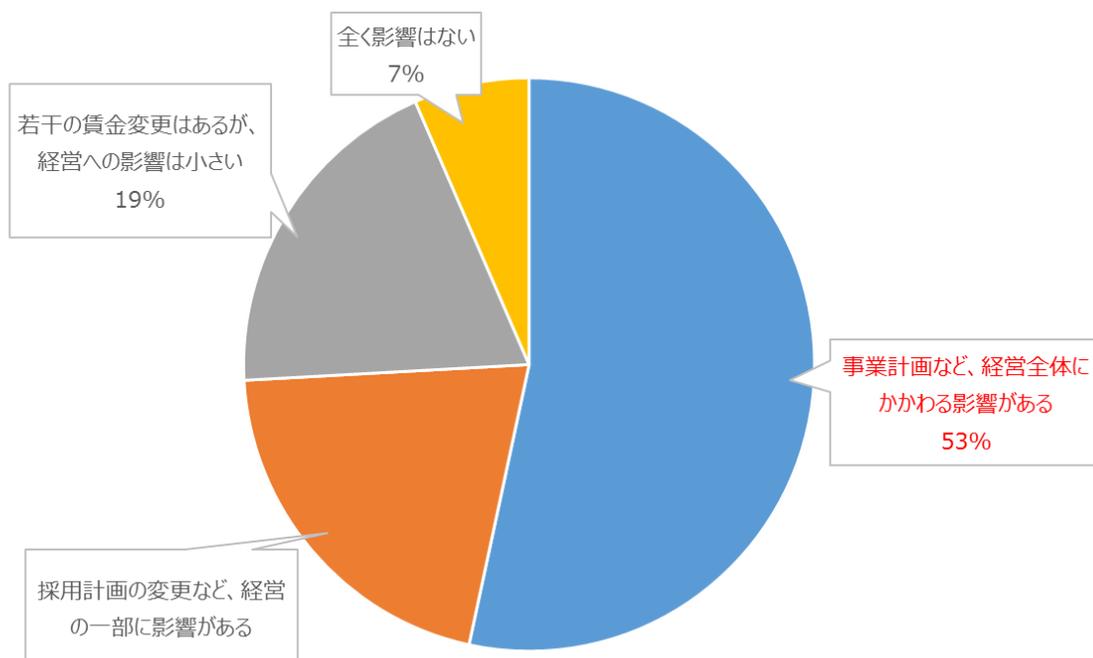
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	2016年度	2017年度	2018年度
北海道	22(2.9%)	24(3.1%)	25(3.1%)
青森	21(3.0%)	22(3.1%)	24(3.3%)
岩手	21(3.0%)	22(3.1%)	24(3.3%)
宮城	22(3.0%)	24(3.2%)	26(3.4%)
秋田	21(3.0%)	22(3.1%)	24(3.3%)
山形	21(3.0%)	22(3.1%)	24(3.2%)
福島	21(3.0%)	22(3.0%)	24(3.2%)
茨城	24(3.2%)	25(3.2%)	26(3.3%)
栃木	24(3.2%)	25(3.2%)	26(3.3%)
群馬	22(3.0%)	24(3.2%)	26(3.3%)
埼玉	25(3.0%)	26(3.1%)	27(3.1%)
千葉	25(3.1%)	26(3.1%)	27(3.1%)
東京	25(2.8%)	26(2.8%)	27(2.8%)
神奈川	25(2.8%)	26(2.8%)	27(2.8%)
新潟	22(3.0%)	25(3.3%)	25(3.2%)
富山	24(3.2%)	25(3.2%)	26(3.3%)
石川	22(3.0%)	24(3.2%)	25(3.2%)
福井	22(3.0%)	24(3.2%)	25(3.2%)
山梨	22(3.0%)	25(3.3%)	26(3.3%)
長野	24(3.2%)	25(3.2%)	26(3.3%)
岐阜	22(2.9%)	24(3.1%)	25(3.1%)
静岡	24(3.1%)	25(3.1%)	26(3.1%)
愛知	25(3.0%)	26(3.1%)	27(3.1%)
三重	24(3.1%)	25(3.1%)	26(3.2%)
滋賀	24(3.1%)	25(3.2%)	26(3.2%)
京都	24(3.0%)	25(3.0%)	26(3.0%)
大阪	25(2.9%)	26(2.9%)	27(3.0%)
兵庫	25(3.1%)	25(3.1%)	27(3.2%)
奈良	22(3.0%)	24(3.1%)	25(3.2%)
和歌山	22(3.0%)	24(3.2%)	26(3.3%)
鳥取	22(3.2%)	23(3.2%)	24(3.3%)
島根	22(3.2%)	22(3.1%)	24(3.2%)
岡山	22(3.0%)	24(3.2%)	26(3.3%)
広島	24(3.1%)	25(3.2%)	26(3.2%)
山口	22(3.0%)	24(3.2%)	25(3.2%)
徳島	21(3.0%)	24(3.4%)	26(3.5%)
香川	23(3.2%)	24(3.2%)	26(3.4%)
愛媛	21(3.0%)	22(3.1%)	25(3.4%)
高知	22(3.2%)	22(3.1%)	25(3.4%)
福岡	22(3.0%)	24(3.1%)	25(3.2%)
佐賀	21(3.0%)	22(3.1%)	25(3.4%)
長崎	21(3.0%)	22(3.1%)	25(3.4%)
熊本	21(3.0%)	22(3.1%)	25(3.4%)
大分	21(3.0%)	22(3.1%)	25(3.4%)
宮崎	21(3.0%)	23(3.2%)	25(3.4%)
鹿児島	21(3.0%)	22(3.1%)	24(3.3%)
沖縄	21(3.0%)	23(3.2%)	25(3.4%)
全国加重平均	25(3.0%)	25(3.0%)	26(3.1%)

2018年度の最低賃金改定についての採用担当者の意識調査結果

採用担当者に、最低賃金の引き上げについてどのような影響があるかアンケートを行った結果が以下になります。53%もの担当者が「事業計画など、経営全体にかかわる影響がある」と回答しています。「事業計画など、経営全体にかかわる影響がある」「採用計画の変更など、経営の一部に影響がある」と何かしらの影響があると回答された方は全体の約7割にのぼっています。

次ページ以降で、実際に8月・9月に掲載された求人広告のうち、10月の改定後の最低賃金を下回っている原稿の割合がどれくらいあるか見ていきます。

Q:地域別最低賃金が引き上げられることによる影響はありますか？
(期間：2018/8/3～2018/8/9、n=429)



過去3年間における月次での改定後最低賃金を下回る原稿率推移

本ページ以降では、毎年10月頃に改定が行われる前の8月・9月に、アルバイト・パートにおける求人での改定後最低賃金を下回る原稿の割合を見ていきます。直近3年間で月ごとに見た推移が以下グラフになります。

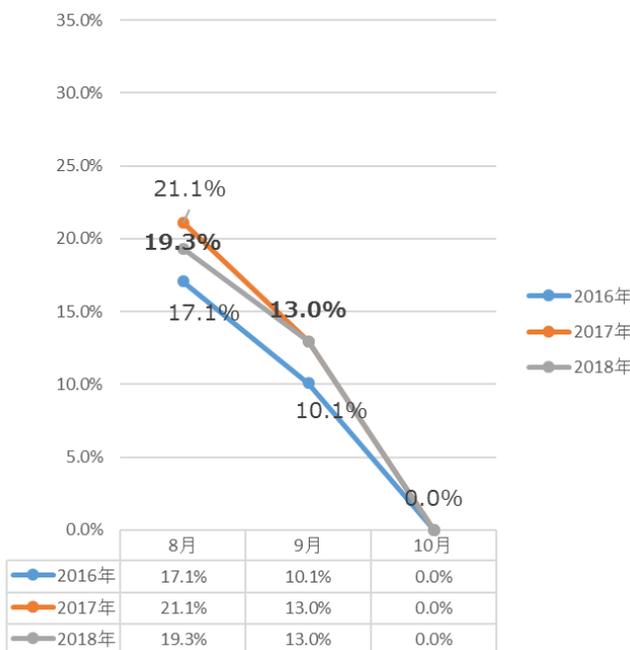
まず、2018年について注目すると、8月時点では改定後最低賃金を下回る原稿率は19.3%、次いで9月になると13.0%と減少していることがわかります。年度ごとの推移差を見てみると

- 1)2016年と比較し、2017年・2018年の改定後最低賃金を下回る原稿率が高い
- 2)2018年においては、8月から9月にかけての改定後最低賃金を下回る原稿率の減少幅が2017年と比較し小さいことがわかります。

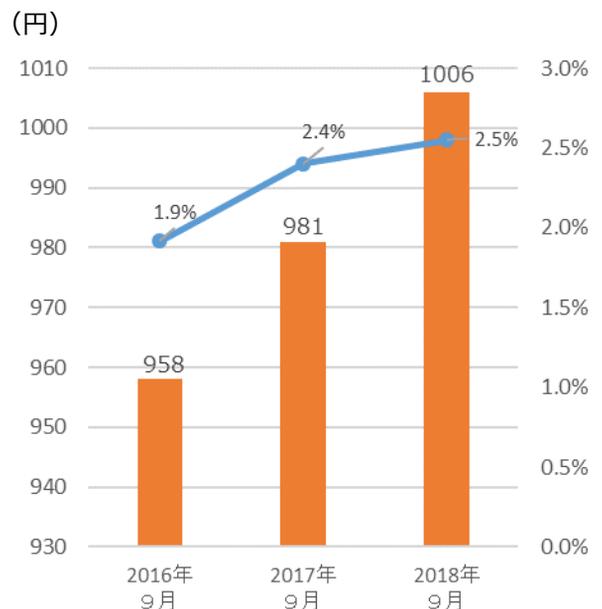
1)については、3%程度の最低賃金引き上げが続く中、最低賃金の上昇についていくことが難しい企業が増えていること

2)については2018年においては8月時点では慢性的な人手不足により需給で継続的に時給上昇が起きており、最低賃金ラインを超えている割合が改定額決定前時点では高いが、そこまで時給を上げていない企業群の中で時給上昇が難しく改定後もぎりぎりまで上げ渋っているという傾向がみられることが推察されます。

改定後最低賃金を下回る原稿率
(全国/アルバイト・パート)



(参考) 募集時平均時給の上昇推移
(全国/アルバイト・パート)



職種別における最低賃金を下回る原稿率

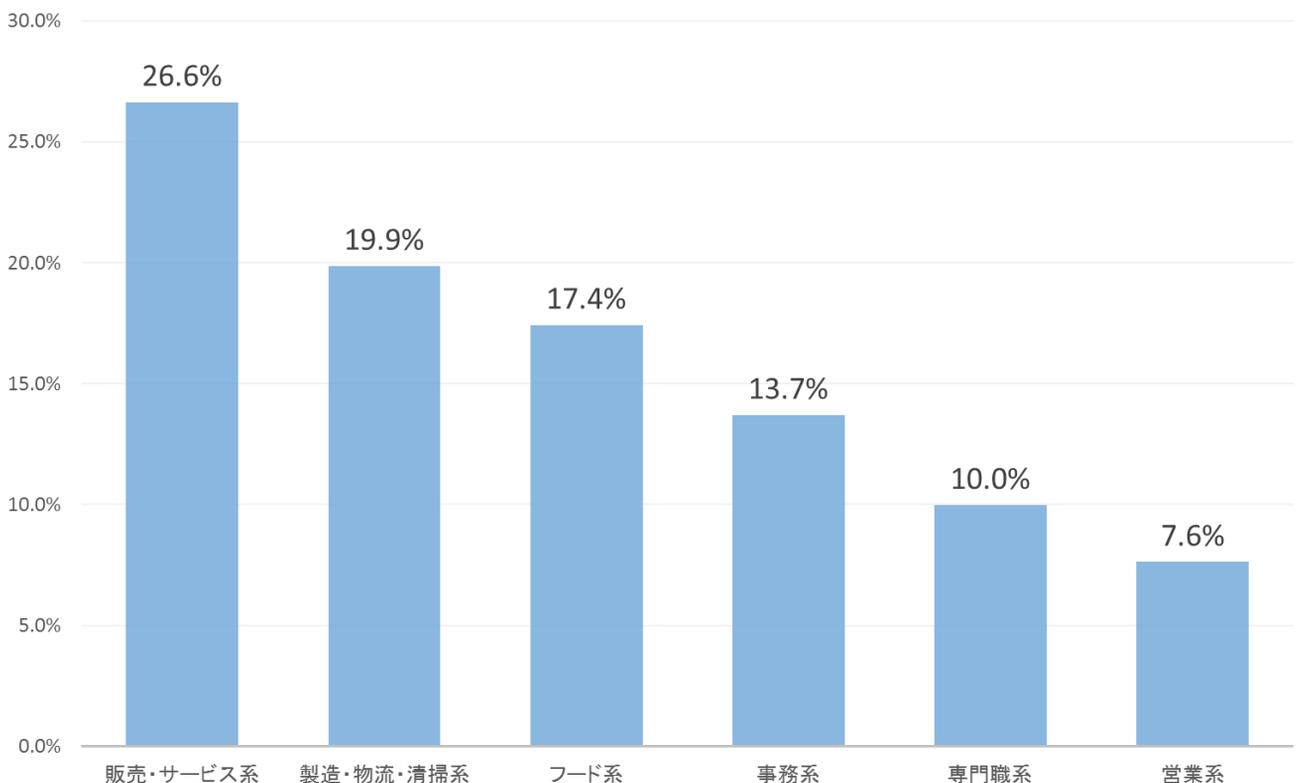
前項で記載をした改定後最低賃金を下回る原稿率について、2018年度8月データを職種ごとに見たのが以下のグラフになります。

職種間で見ると、改定後最低賃金を下回る原稿率は「販売・サービス系」、「製造・物流・清掃系」が高く、次いで「フード系」、「事務系」が続いているということがわかります。

「販売・サービス系」は8月時には改定後最低賃金を下回る原稿率が26.6%と非常に高い結果となっています。「コンビニスタッフ」や、「レジ」「販売」など相対的に時給が低い職種が多くその結果として改定後賃金を下回る原稿が多いことが想定されます。

また、職種間の差異については、先期2017年と大きな差はでていません。

2018年8月度の職種別での改定後最低賃金を下回る原稿率（全国/アルバイト・パート）



エリア別における最低賃金を下回る原稿率

続いてエリア別の8月における改定後最低賃金を下回る原稿率についてのグラフが以下になります。

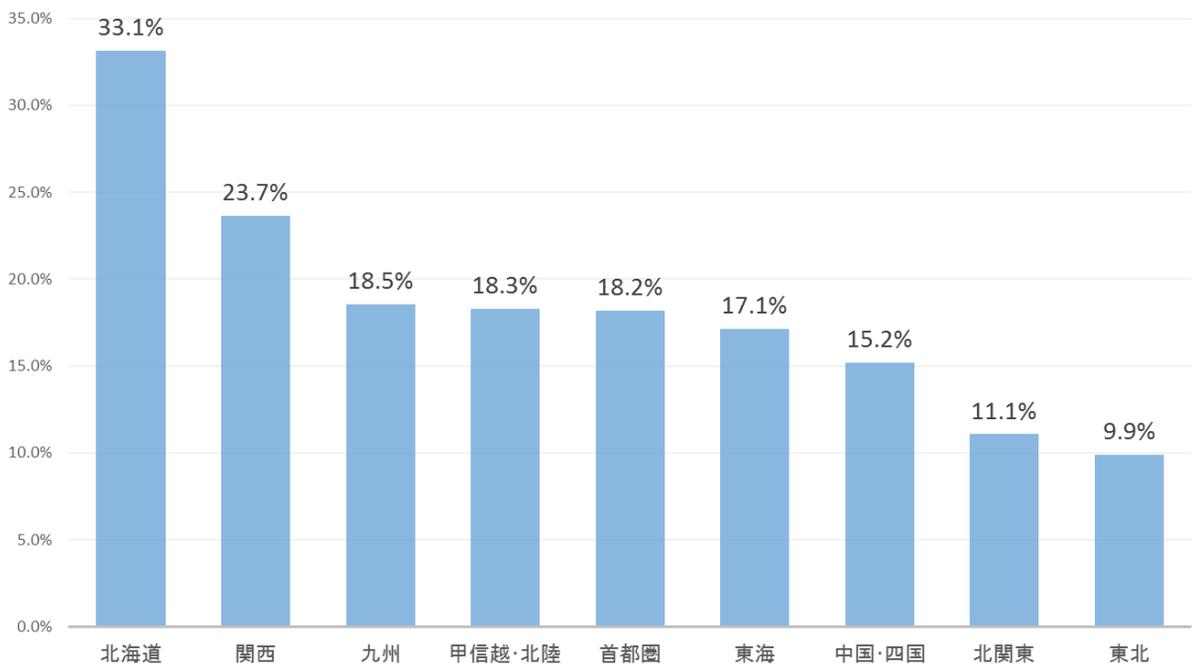
エリア別では、8月時点においては北海道、関西、九州の順で高い結果となっています。

北海道に関して、8月度のアルバイト・パート募集時平均時給をしてみると8月度は職種全体で「904円」と東北の「922円」よりも低くなっています。一方、最低賃金は北海道は「835円」、東北では宮城県が最も高く「798円」と北海道の方が高くなっており、最低賃金改定額の厳しさがうかがえます。

三大都市圏においては、関西が最も高く8月時点では23.7%程度と約1/4が改定後賃金を下回っている状況になっていることがわかります。

次頁以降においては、各エリアのうち特に三大都市圏に注目し、県ごとに改定後最低賃金を下回る原稿率にどのような差があるか見ていくことにします。

2018年8月度のエリア別改定後最低賃金を下回る原稿率（アルバイト・パート）



(参考) エリア別アルバイト・パート募集時平均時給 (8月度)

(円)

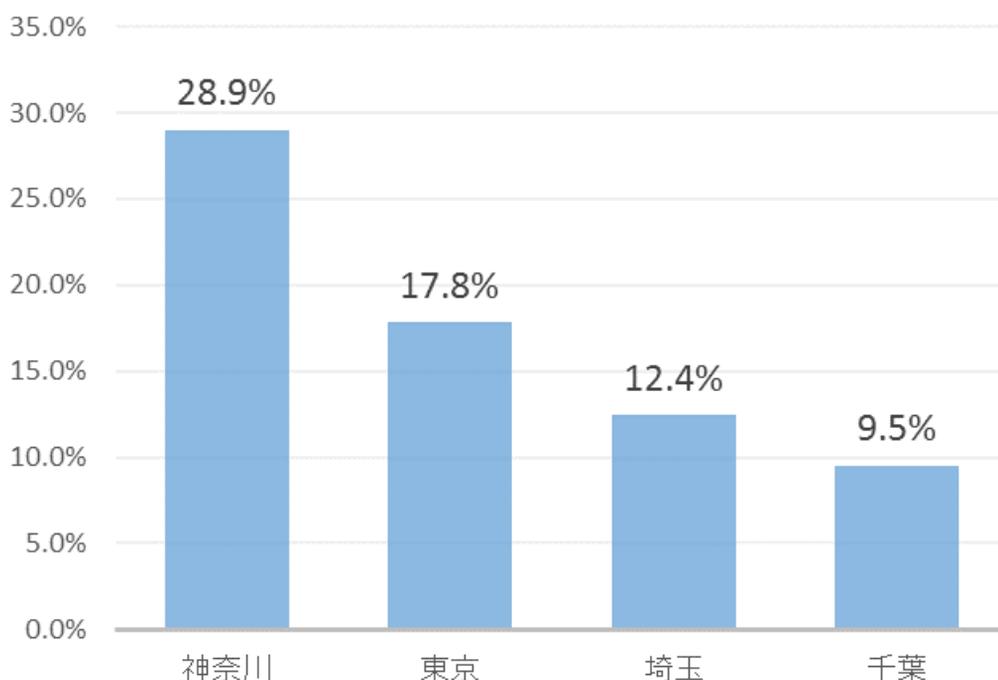
	北海道	東北	北関東	首都圏	甲信越・北陸	東海	関西	中国・四国	九州
全体	904	922	939	1,080	920	978	1,007	913	896

首都圏における最低賃金を下回る原稿率

首都圏において8月度の改定後最低賃金を下回る原稿の割合を県別でみたグラフが以下になります。神奈川県が最も最賃割れ率が高く、次いで東京都、埼玉県、千葉県という結果になっています。神奈川県では、8月時点においても28.9%が改定後最低賃金を下回っております。改定後最低賃金「983円」と東京都の「985円」と2円差に迫る賃金まで上げることの難しさがうかがえます。

また職種別で見た際には、神奈川県が全体的に他県に比べて高いことに変わりはありませんが、特に「フード系」においては他県の2倍以上の賃金割れ率となっています。

首都圏県別の8月度の改定後最低賃金を下回る原稿率（アルバイト・パート）



■職種別における改定後最低賃金を下回る原稿率

職種	神奈川県	東京都	埼玉県	千葉県	総計
販売・サービス系	39.2%	26.7%	18.8%	15.3%	26.6%
フード系	32.9%	14.4%	9.6%	7.6%	16.3%
製造・物流・清掃系	27.1%	19.0%	13.0%	8.4%	18.2%
事務系	24.1%	11.1%	8.9%	7.1%	12.4%
営業系	9.7%	8.9%	0.0%	0.0%	8.0%
専門職系	12.6%	11.3%	5.1%	5.0%	10.1%
合計	28.9%	17.8%	12.4%	9.5%	18.2%

改定後最低賃金額 (前年度差)	神奈川県	東京都	埼玉県	千葉県	総計
	983 (27)	985 (27)	898 (27)	895 (27)	-

(参考) 東京都における詳細エリア別の改定後最低賃金を下回る原稿率

改定後最低賃金を下回る原稿の割合について東京都をより細かなエリアでみたグラフが以下になります。(こちらのデータは9月度のデータになります)

東京都においては、まず都心5区(千代田区・中央区・港区・新宿区・渋谷区)は9月時点ですでに賃金割れ率が3.5%なのに対して、他18区では13.3%、さらに23区外においては27.8%とエリアによって大きな差があることがわかります。

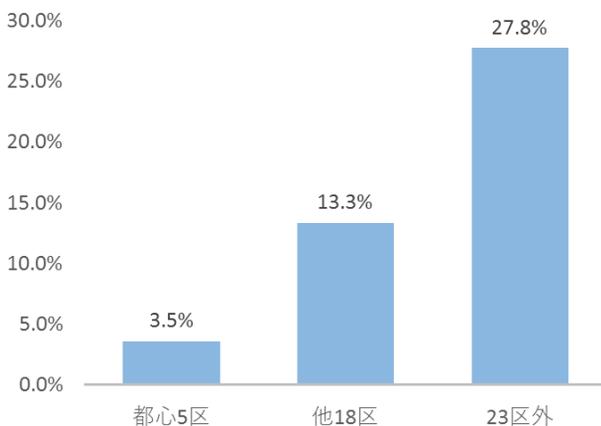
東京都23区についての区ごとの最賃割れ率(下部右表)を見てみると、港区、中央区、千代田区、渋谷区といった東京内の中心地は直接的にはほぼ最低賃金の影響を受けていないと読み取れる一方、23区内においても足立区、江戸川区、葛飾区などは20%を超えており、最低賃金改定の影響を多分に受けていることが読み取れます。

今回東京都のみを参考として取り上げましたが、他県においても都市部とそれ以外の地域において一律の上昇幅に対する傾向が大きく異なることが推察されます。

東京都の9月度改定後最低賃金を下回る原稿率 (アルバイト・パート)

エリア別

東京23区別



23区名	賃金割れ率
港区	2%
中央区	3%
千代田区	3%
渋谷区	3%
品川区	6%
新宿区	6%
台東区	8%
江東区	8%
目黒区	8%
文京区	8%
大田区	10%
豊島区	11%

23区名	賃金割れ率
杉並区	14%
世田谷区	14%
中野区	14%
墨田区	15%
練馬区	16%
板橋区	16%
北区	18%
荒川区	19%
足立区	21%
江戸川区	24%
葛飾区	26%

※1 都心5区は千代田区・中央区・港区・新宿区・渋谷区

Source:当社が企画運営する求人メディア 『TOWNWORK』 『TOWNWORK社員』 『fromA navi』に掲載された求人情報より、「アルバイト・パート」募集の求人情報を抽出

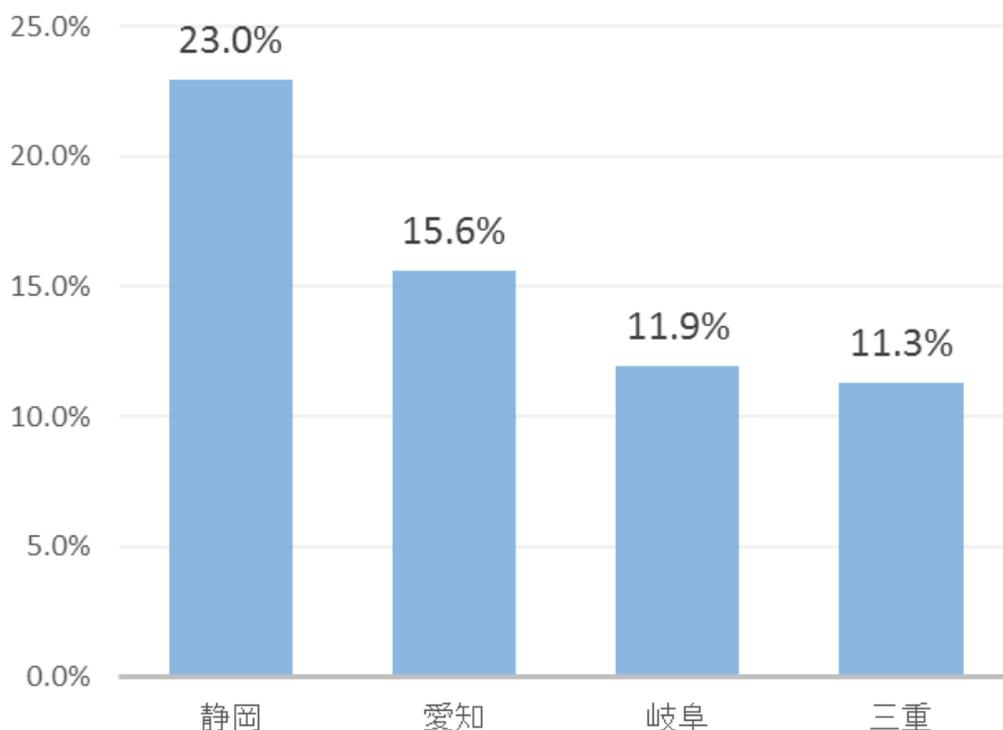
東海における最低賃金を下回る原稿率

東海において8月度の改定後最低賃金を下回る原稿の割合を県別で見たグラフが以下になります。

東海においては、静岡県が最も最賃割れ率が高く、次いで愛知県、岐阜県、三重県という結果になっています。

静岡県においては、「製造・物流・清掃系」「事務系」において他県と比較して改定後最低賃金を下回る原稿率が高い結果となっています。

東海県別の改定後最低賃金を下回る原稿率（アルバイト・パート）



■職種別における改定後最低賃金を下回る原稿率

職種	静岡	愛知	岐阜	三重	東海計
販売・サービス系	29.3%	20.1%	17.0%	16.4%	22.4%
フード系	18.2%	16.2%	6.8%	6.7%	15.2%
製造・物流・清掃系	24.1%	16.3%	14.9%	8.5%	18.1%
事務系	24.5%	12.2%	8.5%	17.6%	14.7%
営業系	3.1%	9.1%	-	-	9.6%
専門職系	8.8%	6.5%	8.5%	11.7%	7.3%
合計	23.0%	15.6%	11.9%	11.3%	17.1%
改定後最低賃金額 (前年度差)	858 (26)	898 (27)	825 (25)	846 (26)	-

最低賃金改定影響についてのレポート

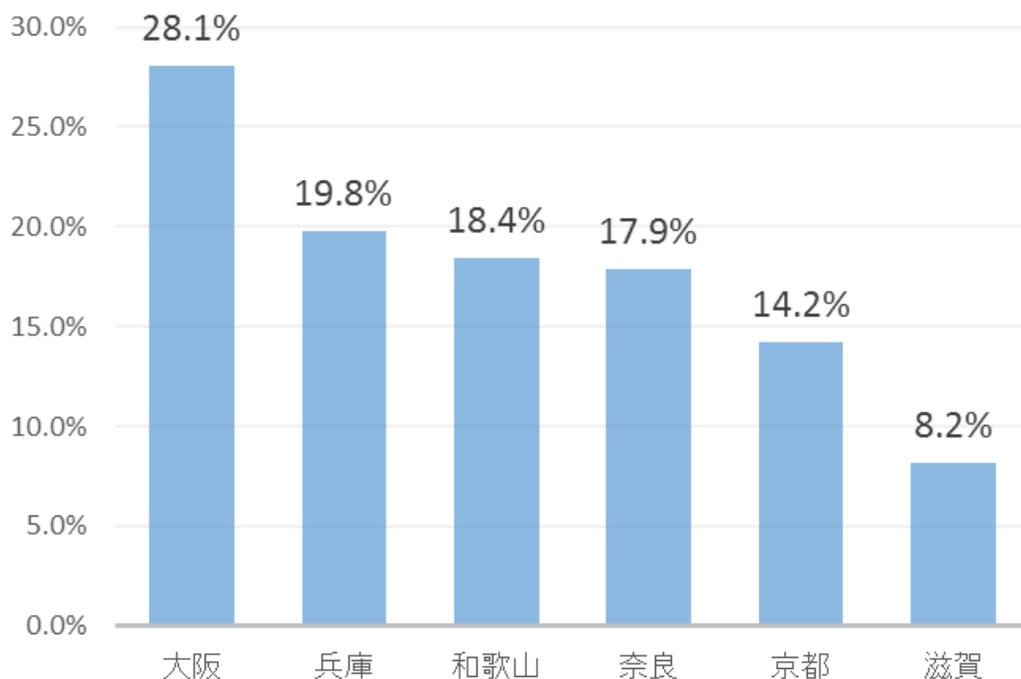
関西における最低賃金を下回る原稿率

関西において8月度の改定後最低賃金を下回る原稿の割合を県別でみたグラフが以下になります。

関西においては、大阪府が最も最賃割れ率が高く、次いで兵庫県、和歌山県、奈良県、京都府、滋賀県という結果になっています。

大阪府は改定後最低賃金が936円と他県よりも大幅に高くなっており、結果「販売・サービス業」、「フード系」、「製造物流清掃系」を中心に改定後最低賃金を下回る原稿率が非常に高くなっています。

関西県別の改定後最低賃金を下回る原稿率（アルバイト・パート）



■職種別における改定後最低賃金を下回る原稿率

職種	大阪	兵庫	和歌山	奈良	京都	滋賀	関西計
販売・サービス系	35.6%	29.7%	32.3%	27.1%	18.4%	8.6%	30.8%
フード系	31.5%	17.7%	7.7%	7.7%	14.9%	9.5%	24.1%
製造・物流・清掃系	28.5%	17.6%	14.9%	22.1%	12.8%	6.6%	23.5%
事務系	21.1%	14.9%	-	0.0%	8.5%	6.7%	18.1%
営業系	6.6%	8.8%	-	-	0.0%	-	10.7%
専門職系	12.5%	8.7%	-	5.9%	11.9%	2.0%	11.3%
その他	43.0%	-	-	-	-	-	31.8%
合計	28.1%	19.8%	18.4%	17.9%	14.2%	8.2%	23.7%
改定後最低賃金額 (前年度差)	936 (27)	871 (27)	803 (26)	811 (25)	882 (26)	839 (26)	-